

1. 基本情報

- (1) 国名：サモア独立国（以下、「サモア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アピア
- (3) 案件名：サモア国立大学保健科学学部施設整備計画（The Project for Construction for Faculty of Health Science of National University of Samoa）
- (4) 計画の要約：
本計画は、首都アピアにあるサモア国立大学保健科学学部において、医師及び看護師養成のプログラムを実施する臨床技能研修施設、前臨床技能研修複合施設等を整備することにより、保健医療分野における教育の質の向上を図り、もって質の高い保健人材の育成強化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

サモアは、ポリネシアで最も人口が多く、複数の国際機関の地域事務所が所在し、ポリネシア地域において大きな影響力を有する国である。また、同国は独立から一貫して親日的であり、これまで国際場裏における我が国の立場や国際機関の選挙での我が国の立候補を支持するなど、我が国と良好な二国間関係を築いている。

本計画は、保健・医療体制が脆弱なサモアにおいて、保健人材の育成強化に資する協力であり、二国間関係の強化に大きく貢献することが期待できる。また、2018年5月に開催した第8回太平洋・島サミット(PALM8)において採択された首脳宣言で、「強靱かつ持続可能な発展のための基盤の強化」を協力の柱の一つとして位置づけており、本計画はこれに合致するものであることから、本計画の外交的意義は高い。

(2) 当該国における保健分野の現状・課題及び本計画の位置付け

サモアは、大洋州に属するウポル島とサバイイ島の主要2島及びその他7つの小島からなる島嶼国であり、面積は2,840k m²、人口は約19.7万人（2019年、世銀）、一人当たり国民総所得（GNI）は4,180米ドル（2019年、世銀）である。サモアにおける保健セクターは、医療従事者不足、施設の老朽化、予算不足等の問題を常に抱えており、特に保健人材の育成に対するニーズが大きいとされている。世界保健機関（WHO）によるとSDGs達成のために必要な保健人材（医師、看護師、助産師）は人口千人当たり4.45人と推計しているが、サモアでは、2.83人（2016年）と著しく低いことが確認されている（2019年、WHO）。また、2019年11月には同国内では麻疹が大流行し、83人が死亡、5,700人以上の感染が確認された。予防接種に係る資機材はドナー支援等により整備されていたものの、専門知識を十分に有している医療従事者の不足により、十分な予防接種率を維持できていなかったことが背景にある。加えて、2020年11月17日、サモア国内で初となる新型コロナウイルスの感染例が確認された。同国の保健セクターには、新型コロナウイルスにかかる対策のために約7.3百万米ドルが配分されており、同国保健省は、治療体制の構築等の対策を急いでいるが、本体制の確立のためには、保健医療分野における教育の充実の必要性が指摘されている。

サモア国立大学では、看護科及び医学科から構成される保健科学学部において医師、看護師等の養成プログラムが提供されており、約 380 人の学生が在籍している。サモア国内の保健人材の 9 割が当大学で資格を取得しており、当学部学生は、国立病院に隣接するキャンパス及び一般講義棟を含めたキャンパスにて、それぞれ臨床及び前臨床分野を学習する。しかし、既存施設は、学生数に対する講義室等の設備不足に加え、全て築 20 年以上経過しており、小規模な増築や修復を繰り返してきたものの老朽化が進んでおり、当学部キャンパスを新設することが喫緊の課題となっている。

サモア保健省は、「サモア保健セクター計画 2020-2030 (Health Sector Plan)」において、保健人材の育成強化を重点課題として掲げている。無償資金協力「サモア国立大学保健科学学部施設整備計画」(以下、本計画という。)は、当該計画を推進するものと位置づけられる。なお、我が国は同国立大学に対して、「サモア国立大学拡充計画」(1995 年 E/N、講義室棟整備等)、「職業訓練学校拡充計画」(2004 年及び 2005 年 E/N、教養学部棟整備等)の支援を実施している。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

ア) 施設、機材等の内容

【施設】臨床技能研修施設、前臨床技能研修複合施設

【機材】臨床検査用機材：顕微鏡、PCR 機器、セーフティキャビネット等

研修用機材：ベッド、各種人体・臓器模型、実習用マネキン、超音波診断装置、コンピュータ及び周辺機器等

その他：机、椅子、本棚等

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工・調達監理、機材及び施設維持管理等にかかる技術指導

② 期待される開発効果：

保健医療分野における教育環境の向上（学生一人当たりの実習時間数の増加（前臨床：2→4 時間/週、臨床：8→16 時間/週）により、サモアにおける保健医療分野の教育の質が向上し、質の高い保健人材の育成への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：サモア国立大学（National University of Samoa; NUS）

他機関との連携・役割分担：サモア国立大学への政府支援金も含めた全ての資金管理は、当国財務省により行われている。本事業の輸入資機材に関する関税及び通関については、財務省が必要な措置を行う。

④ 運営／維持管理体制：サモア国立大学は保健科学学部を含め、評議会による運営の下、運営・維持管理を行っている。

(2) その他特記事項

- ・環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ・ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- ・サモアの所得水準は相対的に高いことから「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の適否について精査が必要である。サモアは統計上その所得水準は高いが、保健医療体制が脆弱で感染症等に対し

て脆弱であり、人間の安全保障の観点から、国内の質の高い保健医療人材育成の体制整備を行うことが必要である（人道上のニーズ）。本計画は、上記の観点より無償資金協力の供与が適当と判断できる。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

サモア向け無償資金協力「職業訓練学校拡充計画」（2010年度評価）の事後評価等では、定期的な機材更新等も視野に入れた十分な予算を確保し、予防的な維持管理の視点を持って維持管理計画通りに作業を進めていくことの重要性が指摘されている。

この教訓を生かし、実施機関によって本計画で整備する施設及び機材の予算の確保を含めた維持管理計画の策定と確実な運用を行うよう働きかける。

以 上

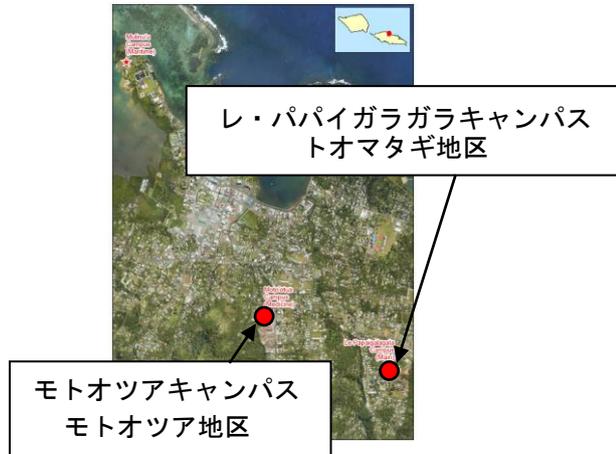
[別添資料] 地図

<サモア独立国地図>



(出典：外務省)

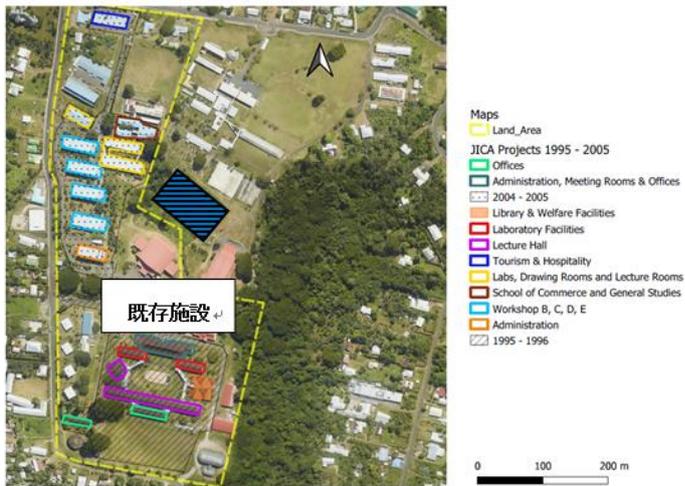
<首都アピア地図>



(出典：Google Map)

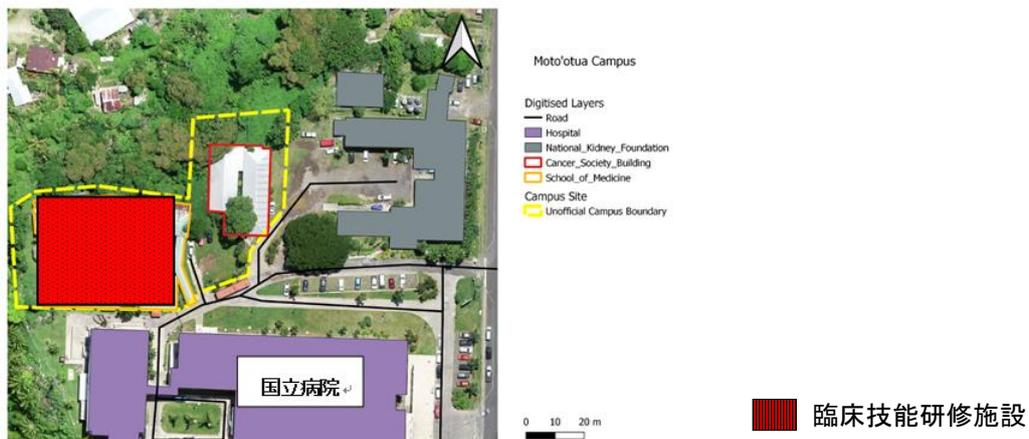
<サモア国立大学 地図 (本事業予定地含む) >

レ・パパイガラガラキャンパス地図



(出典：Google Map)

モトオツアキャンパス地図



(出典：Google Map)

[別添資料] 写真

レ・パイガラガラキャンパス



前臨床施設全体外観



前臨床施設外観

モトオツアキャンパス



臨床施設と国立病院



臨床施設内の講義室